



# 小川小学校

HP:<http://ogawa-e.murakami.ed.jp>

小川小日記



## 「思いをつなぐ」



校長 佐久間 義久

私の手元に「万代太鼓」という冊子があります。著者は、田村 功（いさお）さんという、私が新採用教員の時の教頭先生で、新潟市立万代小学校で万代太鼓クラブを立ち上げた方です。本文に次のような一節があります。「昭和43年の新潟まつりで石川県の片山津太鼓が披露されました。それまでの新潟祭りに太鼓はありませんでした。『新潟っ子が誇れる新潟の太鼓を作りだしたい』（中略）勇壮な新潟の太鼓を作る第一歩を踏み出した。」そんな経緯で大人の新潟万代太鼓飛龍会が立ち上がり、その後、学校への普及を行った結果、万代小万代太鼓クラブが立ち上がったとクラブ発足の経緯が記載されています。

ところで、新聞等でしか小川小の朝日三面川太鼓を知らなかった私ですが、この4月早々に、5、6年生が熱心に練習している姿には大いに圧倒されました。大滝教頭から、「荃太小で始まった太鼓です。当時の職員が『荃太の子どもたちに自信を付けたい』そんな思いがあって始め、万代太鼓の関係者にも教わったとのこと。そして、三面小が引き継ぎ小川小へと・・・」と聞きました。そこで35年間前にいただいたこの冊子を思い出し、書棚から引っ張り出してきたというわけです。ただの偶然とはいえ不思議な縁を感じます。冊子を手にして田村 功さんにお電話したところ、「荃太小へ教えに行ったのはこの俺だこって！」とのこと。びっくりしました。

この4月に、小川小後援会評議員会に初めて参加しました。その際に、当後援会は「学校の伝統をつなぐ」という思いを込めて立ち上がり、学区全集落による手厚い人的・物的支援を継続して行ってきていただいたことを知りました。また、三面地域・舘腰地域両まちづくり協議会総会においても、多大なるご支援を継続していただいていることを知りました。まさに、「小川小の子どもを、地域も一緒になって育てる」そんな強い思いを見た気がしました。伝統をつなぐことは簡単ではありません。また子どもたちが伝統と受け止めバチをふるっているかは定かではありません。でも、懸命にバチをふるう姿からは、自分たちの出番となった太鼓の演奏を“先輩たちのように素晴らしいものにしたい”という意気込みが十分に感じられました。地域が支え、子どもたちが本気になっている朝日三面川太鼓は、もはや小川小の伝統だと感じました。今後も、この伝統にしっかり向き合っていきたいと思えます。



# 1年生よろしくね。心温まる「一年生を迎える会」

4月21日（金）に毎年恒例の「一年生を迎える会」を行いました。最初に花のアーチをくぐって、6年生のお姉さんお兄さんと一緒に、元気に入場しました。1年生の自己紹介では、みんなはっきりした声で好きなものを堂々と話し、上級生から拍手を浴びていました。ジャンケンゲームやクイズはみんなと仲良く取り組み、一喜一憂しながら大いに盛り上がりました。5・6年生の総務委員会の子どもたちが上手に司会進行を務め、スムーズに会を進めていました。最後に、6年生から首にかけてもらったプレゼントを嬉しそうに眺めている1年生の姿が印象的でした。各学年も会のために役割分担をして、1年生のために心を込めて準備してくれたので、心温まる会となりました。1年生もこの温かい雰囲気の中で、伸び伸びと成長してくれることを願っています。



1年生入場



1年生の自己紹介



プレゼント渡し

## 「交通安全教室」を行いました

4月28日（金）に交通安全教室を行いました。市交通安全指導員の皆様、猿沢駐在さんと、たくさんの方が指導してくださいました。低学年は、道路歩行や道路の横断の仕方のビデオを見てから、実際の道路で歩道の歩き方を学習しました。中学年は、体育館に設置した特設コースで、自転車教室を行い、実際に自転車に乗って安全な乗り方を学びました。高学年は、交通安全についてビデオを見て学習しました。ご指導いただいた皆様、大変ありがとうございました。子どもたちが、交通ルールを守り、事故なく安全に過ごせることを願っています。



## 学習参観・学級懇談・PTA総会にご参加いただき、ありがとうございました

4月30日（日）の学習参観日には、今年もたくさんの皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。あいにくの悪天候で、縄文の里春祭りでの披露はできませんでしたが、体育館で朝日三面川太鼓を演奏するカッコいい5・6年生の姿を見ていただけたと思います。また、1～4年生が、教室で真剣に学習する姿を参観いただきました。今年もまた、保護者の皆様、地域の皆様（まちづくり協議会・後援会等）のご支援をよろしく申し上げます。



朝日三面川太鼓の演奏